### 一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構



# 日本臨床発達心理士会 第18回全国大会のご案内

# Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

会 期 2022年8月27日(土)~28日	( H )
-----------------------	-------

オンデマンド配信:8月27日(土)~9月11日(日)

会場 帝京大学八王子キャンパス (Web開催)

テーマ コロナ禍に発達と支援を問う

企 画 日本臨床発達心理士会 東京支部 第18回全国大会準備委員会

		目	次		
Ι	第 18 回全国大会開催のご挨拶	2	VI	実践研究発表、実践セミナーBの 原稿投稿について	12
II	会期・会場・タイムテーブル	4	VII	大会プログラム、大会論文集の 配布について	14
III	プログラム	5	VIII	大会関係諸費用一覧	14
IV	参加方法について	7	IX	更新ポイントについて	14
V	実践研究発表、実践セミナーBの 申込みについて	10	X	大会当日までの諸手続き日程	15
	筆頭発表者、企画者	10	連絡	・問い合わせについて	16
	実践研究発表連名発表者、実践 セミナー B 連名者	11	よく	ある問い合わせ	16

実践研究発表申込み、実践セミナーBの企画申込み締切 4月7日(木)

# 参加申込締切 7月31日(日)

今回は事前申込みのみです。当日参加はありません。

参加申込み、実践研究発表申込み、実践セミナーBの企画申込みはウェブサイトから

第18回全国大会ページ https://www.jocdp.jp/other/congress/ (日本臨床発達心理士会ウェブサイトに「第18回全国大会」のページがあります。)

### 第18回大会開催のご挨拶

第18回大会は、東京支部が担当し、2022年8月27日(土)~28日(日)オンデマンド配信:8月27日(土)~9月11日(日)に帝京大学を拠点に開催されます。今回の全国大会から、全国大会運営委員会が実施の実際的な部分を担い、各委員会の協力を得て全国大会を運営していきます。この方式で全国大会を開催することで、それぞれの支部がご当地の持ち味を生かし、全国大会を開催し実践を交流することが可能となります。東京支部がその先鞭をつけるものです。

2020年以来のコロナ禍が簡単には収束しそうもない現状を踏まえ、第18回大会もWeb開催となります。しかし、それを前向きにとらえ、会場から遠くても、時間がなかなか取れなくても、Webであることの良さを生かして学びの機会を確保し、映像を通じてとはいえ、皆さんと交流することができます。対面ではかなわなくても、Web開催なら参加できることもあるでしょう。多くの皆様がご参集くださることを期待します。

今回の大会テーマは、「コロナ禍に発達と支援を問う」です。私たちの生活は、コロナ禍を経て大きく変わりました。特に、人々の交流・コミュニケーションにおいて大きな影響が生じ、発達上の困難をかかえる人々にさらなる困難をもたらす事態も生じています。こうした世の中の急激な変化の中、今、発達するとはどういうことなのか、臨床発達心理学的支援とはどういうことなのか、私たちの資格の独自性とはどこにあるのかが問われています。コロナ禍による影響の吟味だけでなく、私たちの原点に立って私たちの実践を見直す機会としたいものです。

開催拠点の帝京大学は東京の西の端、多摩地域と言われる東京の中の田舎です。八王子市と連携して長年にわたり臨床発達心理士が巡回発達相談を担ってきました。まず、その実践を振り返るシンポジウム・ワークディスカッションを行います。また、東京支部ならではの豊富な人材を生かし、発達支援の最先端やコロナ禍によって進んだICT活用について学ぶ機会を豊富に設けます。皆様には実践セミナーや実践研究発表で様々な実践事例を報告していただき、会員同士で学びあう機会を豊かにしていただきたいと思います。今回の大会では、サポート体制も整えていますので、積極的に発表の機会を利用していただき、それぞれの実践を全国に広げていっていただければと思います。

臨床発達心理士の皆様が多数お集まりいただき、充実した大会になりますよう、皆様の参加を心よりお待ち申し上げます。

2022年1月

一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構 日本臨床発達心理士会東京支部 第18回大会準備委員会大会長 近藤 清美

### 第18回大会開催のご挨拶

日本臨床発達心理士会第18回大会が、東京支部によりWebで開催されることになりました。私も東京支部の一員として大会のお手伝いをさせていただきたいと思っております。さて、第17回全国大会(京都大会)から新型コロナの影響によりWeb開催となりました。コロナの状況はワクチン接種などにより改善はしてきましたが、まだまだ予断を許さない状況です。Webを通して会員の親睦と資質向上を図っていければと思います。

今大会のテーマは「コロナ禍に発達と支援を問う」です。コロナは当初予想されていたよりずっと長期にわたり、また世界規模で私たちの生活に影響を与えて続けています。コロナ禍による外出自粛やマスクをつけ他者との接触が限られた環境により、幼児の発達に影響がでるのではないかという懸念も呈されています。成人期では女性や若年者の自殺の増加、施設や病院にいる高齢者では長期に渡り家族に会えないという事態が起き、その影響も心配されています。私自身も母を2021年の2月に亡くしました。アルツハイマー病のため1年ほど病院と施設におり、ほとんど会えない状態でした。全国大会のポスターの絵は、実は生前、母が描いた絵です。成長するもののエネルギーを愛した母の絵を皆様に見ていただけとても嬉しく思っております。コロナは多くの人の人生に影を落としたと思います。一方で、コロナ禍により否応なく始めたオンラインによる発達支援を通して、その大きな可能性に気づくこともできました。私たちは産業革命に匹敵する変革の時代に足を踏み入れた気がします。この新しい時代においてどのような発達支援を行なっていくのか、多くの会員の方と考えていきたいと思っております。

末筆ではございますが、本大会の大会長の近藤清美先生、大会事務局長の浅田晃佑先生、日本臨床 発達心理士会東京支部の役員の皆様に、心より感謝いたします。

> 2022年1月 一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構 日本臨床発達心理士会 幹事長 黒田 美保

「日本臨床発達心理士第18回大会」が無事に開催されることになりました。従来の全国大会は、各開催支部が資料等を引き継ぐ形式でしたが、現在は「全国大会運営委員会」が開催支部をサポートする形で運営をしています。また、大会業務の一部を外部委託することにより、開催支部の負担を軽減しています。

新型コロナウィルスにより対面活動が制限される中、本大会もオンライン開催となりました。オンラインで恩恵を受ける部分もあり、人と会えない寂しさもありという形ですが、今できることを全力で行っていきたいと思います。

本大会の開催にあたり、東京支部の皆様には一年以上前からご準備をいただきました。また、全国 大会運営委員会の皆様には親身になってご支援をいただきました。関係する多くの皆様のお力添えに 深く感謝いたします。

2022年1月

全国大会運営委員会 委員長 西村 健一

# || 会場・タイムテーブル

【会期】2022年8月27日(土)~28日(日)

【会場】帝京大学八王子キャンパス(主会場・参加はWEB上となります) WEBにより開催(オンデマンド企画は9月11日17時まで視聴可能)

# オンデマンド配信 8月27日(土) 9:30 ~ 9月11日(日) 17:00まで 公開シンポジウム 幹事長講演・会員総会・会務報告 大会準備委員会企画講演・シンポジウム 実践セミナーA・B(予定)

ライブ配信			
1日目(8月27日(土))	2日目(8月28日(日))		
10:00~11:30 実践研究発表① 12:30~14:00 実践研究発表② 15:00~16:30 実践研究発表③	13:00~16:10 職能問題検討委員会企画 「臨床発達心理士による 子どもと別居親との交流 支援の可能性」		

※オンデマンド:8月27日(土)9:30~9月11日(日)17:00まで

1. 大会準備委員会 公開シンポジウム (オンデマンド)

「巡回発達相談における発達支援の専門性を問う

一八王子市保育巡回発達相談に対する保育者の視点からの検討―|

司会:近藤清美氏(帝京大学)

企画者:木原久美子氏(帝京大学)

話題提供およびワークディスカッション:

八王子市公立・私立保育園保育者および私立幼稚園教諭

八王子市子ども家庭部子どもの教育・保育推進課(センター)行政職

指定討論:藤崎春代氏(昭和女子大学)

2. 大会準備委員会 企画講演 (オンデマンド)

「コロナ禍における家族支援の現状と課題:

子ども・養育者への影響、発達障害、マルトリートメント(児童虐待)の観点から」

企画者:浅田晃佑氏(東洋大学)・東敦子氏(国際学院埼玉短期大学)・ 北濵千枝子氏(東京未来大学)

話題提供:

森口佑介氏(京都大学)「コロナ禍は子どもや養育者にどのように影響を 与えるか」

井上雅彦氏(鳥取大学)「発達障害における親支援―インターネットによるペアレントトレーニングの効果と課題― |

友田明美氏(福井大学)「マルトリートメント(児童虐待)予防のための 家族支援」

3. 大会準備委員会 企画シンポジウム1 (オンデマンド)

「超早期の発達支援のエビデンスを問う」

司会・企画者:稲田尚子氏(帝京大学)

話題提供:

JASPER 井澗知美氏(大正大学)

ESDM 館農幸恵氏(ときわこども発達センター)

PCIT 古川心氏(神戸親和女子大学)

指定討論:黒田美保氏(帝京大学)

4. 大会準備委員会 企画シンポジウム2 (オンデマンド)

「ICTによる発達支援の実践例から学ぶ効果と展望」

司会・企画者:中村晋氏・村上香奈氏(帝京大学)

話題提供:

平林ルミ氏(東京大学先端科学技術研究センター)

若井広太郎氏(筑波大学附属大塚特別支援学校)

蔵土とも子氏(東京都公立小学校)

指定討論:石隈利紀氏(東京成徳大学)

- 5. 日本臨床発達心理士会 幹事長講演 (オンデマンド)
- 6. 日本臨床発達心理士会 会員総会・会務報告 (オンデマンド)
- 7. 実践研究発表 (ライブ配信)

8月27日 (土) 10:00~11:30/12:30~14:00/15:00~16:30

日本臨床発達心理士会の会員が、日頃行っている実践や研究、事例、調査、療育・教育実践などを発表する場です。自分自身の実践を振り返り、同じ実践をしている仲間と意見交換をし、さらに専門的立場からのスーパーバイズを受けるよい機会となります。領域的に近い発表3件を組み合わせたものを1セッションとし、1時間30分で構成されます。

8. 実践セミナー (オンデマンド、職能問題検討委員会企画研修会のみライブ配信 (8月28日(日)13:00~16:10)

最新の学問的知見、地域との関わり、新しい研修法など様々なトピックについての実践セミナーを行います。日本臨床発達心理士会、支部等が企画する実践セミナーAと会員企画の実践セミナーBを募集します。レクチャー方式、シンポジウム方式、ワークショップ方式など様々な形式で行うことを予定しています。会員相互のディスカッションなどが活発になることを期待しています。

実践セミナーAは、「職能問題検討委員会」、「研修委員会」、「機構スーパーバイザー資格認定委員会」、「実践誌編集委員会」、「テーマ別研究会(自閉症の発達論的アプローチ)」、「京都支部」等にて企画予定です。

#### 〈発表形式〉

実践研究発表はすべて口頭発表形式です。実践研究発表1件の発表は、発表時間20分と質疑応答・コメント10分の計30分です。

#### 実践研究発表

実践研究発表の登壇者は、指定の時間に指定のzoom上に参集頂きます。各自のパソコンと、zoomに安定して接続できる環境を用意してください。Wi-Fiよりも有線のLANケーブルによる接続をお勧めします。

希望により、司会者・発表者・コメンテーターが帝京大学の会場に参集することもできます。大 会準備委員会とご相談下さい。

パワーポイント等を画面共有機能で提示することが出来ます。

当日配付資料がありましたら、6月30日(木)までに全国大会総合窓口(jacdp2022@kohmura.co.jp)にPDFデータにしてお送りください。

### <u>実践セミナー(A・B)</u>

二通りの発表方法があります。

- 1. 指定の期日までに指定の合言葉を入れた90分の動画を作成し全国大会総合窓口 (jacdp2022@kohmura.co.jp) にお送り下さい。動画には、指定の「合い言葉」を入れてください。また、動画は2つか3つのファイルに分割してください。
- 2. 大会準備委員会と相談し、決まった日時に所定の場所で収録します。

パワーポイント等を画面共有機能で提示することが出来ます。

動画 (mp4) および当日配布資料 (PDFデータ) は、6月30日 (木) までに全国大会総合窓口 (jacdp2022@kohmura.co.jp)にお送りください。

### IV 参加方法について

1. 参加申込み 期間: 2022年2月1日(火)~7月31日(日)

期間内に『オンライン参加登録』と『大会参加費の納入』が必要です。今回は「事前申し込み」のみです。当日参加はありません。申込期間が例年より長くなっています。参加を希望される方は、必ずこの期間にお申し込みください。

日本臨床発達心理士会の2022年度および以前の会費が未納の方は、オンライン参加登録システムの登録資格がございませんので、参加登録前に会費の納付を済ませてください。

#### (1) オンライン参加登録

・第 18回全国大会の各種申込みページ https://www.jocdp.jp/other/congress/ から参加登録システムにアクセスしてください (以下の URL、QR コード からもアクセスできます)。

#### 参加登録システムの URL:

https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/apply/JOCDP



・会員 ID とパスワードでログインし、表示される手順に従ってオンライン参加登録を進めてく ださい。期間内であれば申込み後の申込み内容変更、確認も同ページより行えます。 注意: [Step-2:参加申込み情報の入力] まで進みましたら、以下の内容を確認してください。

- \*登録種別は申込み内容によって異なります。該当する登録種別を選択してください。
- \*実践研究発表・実践セミナーBの申込みをされる方ならびに連名者は、8ページ以降の「V実践研究発表、実践セミナーBの申込みについて」を併せてご確認ください。

登録種別	申込み内容
大会参加	大会参加申込みのみの方
実践研究発表(筆頭発表者)	
実践研究発表(連名発表者)	発表・企画の申込みをされる方
実践セミナーB(企画者)	またはその連名者の方
実践セミナーB(連名者)	

・参加登録を完了すると、入力されたメールアドレス宛に申込み内容を受信したことを知らせる「仮受付メール」が自動送信されます。本法人のドメイン @jocdp.jp からのメールが受信できるよう設定してください。

(なお、受付完了後の「第 18 回全国大会参加確認書」もこのメールアドレス宛に送信されます。 8月中旬まで受信可能なメールアドレスでお申込みください。)

・「仮受付メール」が届かなかった場合は、申込みが正しく行われていないか、入力したメールアドレスが間違っているので、再度お申込みください。

#### (2) 大会参加費の納入

大会参加費は【クレジットカード決済】または【郵便振替】にて納入してください。 それぞれの納入方法は以下の通りです。

#### 【クレジットカード決済】

- ・オンライン参加登録の [Step-2:参加申込情報の入力] まで進みましたら**クレジットカード決済** を選択のうえ、次のステップへ進んでください。
- ・画面表示に従い、 [オンライン参加登録 申込完了] 画面まで進みましたら、 クレジットカードのオンライン決済で参加費を支払う ボタンを選択し、画面表示に従い決済を完 了してください。
- ・決済が完了いたしましたら、クレジット決済完了メールが送信されますので、必ず受信を確認してください。

送金額:5,000円/9,000円(申込内容に該当する金額を送金して下さい)

#### 【郵便振替】

- ・オンライン参加登録の [Step-2:参加申込情報の入力] まで進みましたら**郵便振替口座**を選択の うえ、画面表示に従い、オンライン参加登録を完了してください。
- ・以下の払込方法に従い、参加費を送金してください。
- ・8月中旬に送信予定の参加確認書メールを受け取るまで、払込時の控えは大切に保管してください。
- 1)参加費の送金は必ず郵便局に備え付けの払込取扱票(青色)を用いて郵便振替で行ってくださ

い。他行からの送金等、その他でのお支払いは入金確認が行えない為取り扱いません。

2) 以下の必要事項を払込取扱票に記入してください。記入内容が不足していると、正しく受け付けが行われません。

送金額:5,000円/9,000円(申込内容に該当する金額を送金して下さい)

口座番号: 0 0 1 5 0 - 3 - 2 7 4 9 4 3 加入者名:日本臨床発達心理士会全国大会

通信欄: · 臨床発達心理士登録番号

・氏名

・全国大会参加費 5,000円/全国大会発表費・企画費 4,000円 (申し込むものを記入してください)

依頼人欄:住所、氏名、電話番号

・オンライン参加登録をされても参加費の納入がない場合は事前申込みキャンセルとみなします。 必ず締切までに納入してください。

・納入された費用はいかなる理由(災害、交通事故など不可抗力によるもの)であっても返金はしません。

#### (3)受付完了

『オンライン参加登録』と『大会参加費の納入』をもって事前申込み受付完了となり、申込みの際に入力したメールアドレスへ8月中旬までに「第18回全国大会参加確認書」が送信されます。また、別途で8月下旬に大会参加のためのID、パスワードがメールで送られます。大切に保管し、期日になればその情報を使用してご参加下さい。「第18回全国大会参加確認書」の再送信は行いませんのでご注意ください。

#### 企画への参加の仕方とポイントの発行について

全国大会サイト(https://www.jocdp.jp/other/congress/)の大会入り口より、大会入り口パスワード(全国大会総合窓口から別途送付されるメールに記載されています。SOLTIシステムにログインするときのものではありません)を使ってログインし、大会に参加します。

各企画の中に「合い言葉」が発表されます。

オンデマンド企画の場合は、大会入り口を入った後、e-ラーニングシステムに各自の大会参加IDと個別の大会参加パスワード(全国大会総合窓口から別途送付されます。SOLTIにログインするときのものとも、全国大会入り口を入るためものとも違います。お間違えの無いようにお願いいたします)を使ってログインします。そこに掲載されている企画を自由に視聴できます。企画を視聴した後、合い言葉確認画面になりますので、合い言葉を入力してください。それでポイント申請は完了です。

実践研究発表会と職能問題検討委員会企画研修会(ライブ企画)は、大会入り口を入ると各企画へのURLリンクボタンが設置されていますので、時間になりましたら、そこから参加してください。入室が可能なのは10分前からです。企画の途中に合い言葉が発表されますので、入力フォームに合い言葉を入力してください。

研修を深めるために、企画をどれだけでも視聴していただくことができますが、発行されるポイントは最大4ポイントです。

# V 実践研究発表、実践セミナーBの申込みについて

筆頭発表者、企画者 期間:2022年2月1日(火)~4月7日(木)

#### 1. 筆頭発表者、企画者の資格

2022年3月31日現在で臨床発達心理士の資格をもち、2022年度までの年会費を納入済みであること。大会参加申込み、大会参加費の納入を締切までに行っていること。

#### 2. 申込み手続き

実践研究発表筆頭発表者、実践セミナーB企画者の方は、以下の手続きを行ってください。

#### (1) オンライン参加登録

発表・企画申込みを行う前に、オンライン参加登録を行ってください。オンライン参加登録については「IV 参加方法について 1. (1) オンライン参加登録」をご確認ください。なお、期間が異なりますのでご注意ください。

#### (2) 実践研究発表・実践セミナーB企画申込み、原稿投稿

・第18回全国大会の各種申込みページ https://www.jocdp.jp/other/congress/ から参加登録システムにアクセスしてください(以下の URL からもアクセスできます)。

発表・企画申込みおよび原稿投稿システムのURL: https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/public/JOCDP

- ・会員 ID とパスワードでログインし、表示される手順に従って申込みおよび原稿投稿を進めてください。なお、申込みのみ先に行い、原稿投稿は後日行うことも可能です。また、申込み後の申込み内容の変更や確認、投稿原稿の追加や変更も期間内であれば同ページより行えます。
- ・投稿された原稿は、①社会的妥当性を満たし発表することによって社会的貢献に寄与するものであること、②倫理的問題に抵触する記載がないこと、③書式・形式面において実践研究発表の体裁をなしていることの3点から査読した後に、採否結果を2022年5月31日(火)までにメールで通知します。メールは投稿時に登録したアドレスに送信します。場合によっては、それまでに査読委員とやりとりをして頂くこともあります。
- ・原稿投稿に関しては「VI 実践研究発表、実践セミナーBの原稿投稿について」も併せてご確認ください。

#### (3) 大会参加費、実践研究発表・実践セミナーB企画費の納入

- ・大会参加費5,000円と実践研究発表・実践セミナーB企画費4,000円を納入してください。実践研究発表・実践セミナーB企画費は、発表・企画に先立って原稿を査読するための諸経費であり、発表・企画が取り消しとなっても、返金はいたしません。
- ・費用は【クレジットカード決済】または【郵便振替】にて納入してください。それぞれの納入 方法は大会参加費と同じです。P8を参照ください。
- ・郵便振替の際には払込取扱票の通信欄ならびに依頼人欄の必要事項を必ず記入してください。 記入内容が不足していると正しく受付が行われません。
- ・申込みをされても参加費、実践研究発表・実践セミナーB企画費の納入がない場合は申込みキャンセルとみなします。必ず締切までに納入してください。

#### 3. 発表要件

大会論文集への掲載、口頭発表、質疑、時間枠(1時間30分)の在席を満たすことにより正式発表として認められます。筆頭発表者、企画者となれるのは大会期間中1回に限られます。

#### 実践研究発表連名発表者

実践セミナーB連名者(企画者以外の司会者、話題提供者、指定討論者など)

#### 1. 連名発表者、連名者の資格

- ・実践研究発表は筆頭発表者と共同で行ったものであること。
- ・2022年度までの年会費を納入済みであること。
- ・大会参加の事前申込みの手続き(オンライン参加登録と大会参加費の納入)を締切までに行っていること。
- ※臨床発達心理士会非会員の方は連名発表者、連名者になることはできません。

#### 2. 申込み手続き

大会参加の事前申込みの手続きを4月7日 (木) までに行ってください。(「IV 参加方法について 1. 事前申込み」参照)

# VI 実践研究発表、実践セミナーBの原稿投稿について

#### 1. 原稿投稿について

・第18回全国大会の各種申込みページ https://www.jocdp.jp/other/congress/ からシステムにア クセスしてください。(以下の URL からもアクセスできます)。 2022年4月7日(木)までに行ってください。

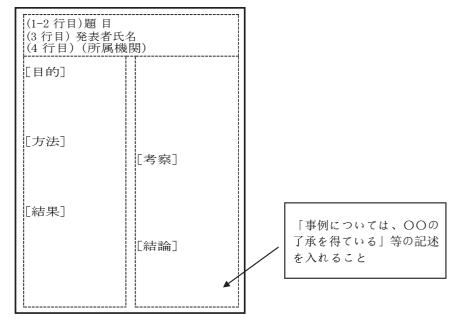
発表・企画申込みおよび原稿投稿システムのURL: https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/public/JOCDP

- ・実践研究発表・実践セミナーB申込みの後、上記の投稿システムを通して原稿の投稿を行ってください。投稿原稿の追加や変更も同ページより行えます。
- ・投稿には、実践研究発表投稿用テンプレート(MS Word)または実践セミナーB投稿用テンプレート(MS Word)を、大会ホームページの発表・企画申込みおよび原稿投稿のページよりダウンロードして使用してください。
- ・原稿はA4サイズに MS Word で作成し、MS Word の形式ファイルをご準備頂いた上で、投稿システムでファイル形式を変えずにアップロードしてください。A4サイズのまま印刷されます。
- ・原稿には、ヘッダー、フッター、ページ番号を記載しないでください。
- ・大会論文集はモノクロ印刷となります。
- ・投稿完了後、登録メールアドレスに投稿完了通知メールが自動配信されます。届かない場合は、 登録内容に誤りがある場合がありますのでご確認ください。
- ・実践研究発表投稿原稿に、事例の写真や名前、年齢などの個人が特定される情報を載せないよ うに、倫理的な配慮を十分に行ってください。
- ・実践研究発表に事例報告を投稿される場合、必ず原稿投稿前に、支援にかかわる人(支援対象者、保護者、所属長、事例に密接にかかわる人、その他関係者)に説明を行い、その了承を得ている旨を原稿中に明記してください。

#### 2. 内容について

#### (1) 実践研究発表

実践研究としての水準やまとまりを考慮して、目的、方法、結果、考察などを明確に記述してください。事例報告者は事例報告としての水準やまとまりを考慮して事例の中身を明確に記述してください。発表内容を下の書式に従ってA4用紙1枚にまとめてください。



(実践研究発表用書式 A4サイズ1ページ)

#### (2) 実践セミナーB

1件につき見開き2ページになります。実践研究発表と同様に、題目と、題目の下に企画者、司会者、話題提供者、指定討論者の順に氏名と所属を全角文字で記述してください。本文には、企画趣旨と各話題提供の要旨などを記述してください。なお、企画趣旨はプログラムにも掲載されます。

(実践セミナーB用書式 A4サイズ見開き2ページ)



# VII 大会プログラム、大会論文集の配布について

大会プログラムは、すべての会員に7月上旬までに発送する予定です。

大会論文集は、印刷物では発行いたしません。大会視聴サイトよりダウンロードしていただく という形をとります。

# ₩ 大会関係諸費用一覧

費目	払込者	金額	備考
大会参加費	参加者	5,000 円	7月31日(日)までに納入 発表者・連名発表者および 企画者・連名者は 4月7日(木)までに納入
実践研究発表・ 実践セミナーB企画費	筆頭発表者・ 企画者	4,000 円	4月7日(木)までに納入

# IX 更新ポイントについて

参加者が取得できるポイントは「更新のためのポイント表」改定版 6 版に該当します。プログラムに参加すると、資格更新に必須の「一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構および同委員会または日本臨床発達心理士会および同会支部が主催する臨床発達心理士のための資格更新研修会(1区分)」のポイントが取得できますが、今大会で最大 4 ポイントとさせていただきます。

3時間のプログラム

1ポイント

1.5 時間以上 3 時間未満のプログラム 0.5 ポイント

# X 大会当日までの諸手続き日程

※大会参加申込みは、オンライン参加登録をしてから、参加費を納入してください。

日程	実践研究発表筆頭発表者 実践セミナーB企画者	実践研究発表連名発表者 実践セミナーB連名者	大会参加のみ		
2月1日(火)	「第 18 回全国大会のご案内」送付(会員全員)申込み受付開始				
4月7日(木)	大会参加申込み、発表・ 企画申込み、原稿投稿、 諸費用納入締切(投稿完 了メール送付)	大会参加申込み締切・ 諸費用納入締切			
5月31日 (火)	採否連絡				
7月上旬まで	「大会プログラム」送付(会員全員)				
7月31日(日)	大会参加申込み締切・ 諸費用納入締切				
8月中旬まで	「全国大会参加確認書」メール送信				
8 月下旬 ※大会 3~5 日前	「大会視聴用 ID・パスワード」メール送信				
8月27日(土) 8月28日(日) オンデマンド企画 は9月11日(日) 17時まで	期日になれば「全国大会ページ」にアクセスして参加 大会論文は、視聴ページよりダウンロード 参加企画毎に合い言葉を入力してポイント請求				

- ■大会全般に関すること
  - → 第18回全国大会総合窓口

株式会社コームラ「日本臨床発達心理士会第18回全国大会 | 係

E-mail: jacdp2022@kohmura.co.jp

- ■参加・発表申込みや費用納入に関すること
  - ➡ 臨床発達心理士認定運営機構ウェブサイト問い合わせフォーム https://www.jocdp.jp/inquiry/

(注意)例年、大変多くの問い合わせが寄せられ準備作業に影響がでています。

→ 問い合わせの前に、もう一度この案内・第18回全国大会ウェブサイトをよくご確認ください。

## よくある問い合わせ

- ○システムにログインする会員ID とパスワードがわからない。
  - →以下のURLよりマイページにアクセスし、「ログインできない方はこちら」をクリックの うえ、画面の表示に従い手続きをしてください。なお、会員 ID は臨床発達心理士登録番 号です。

https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/mypage/JOCDP

- ○年会費を支払っているかどうかの確認をしたい。
  - →会員情報管理システム〈SOLTI〉にログインし、ご確認ください。
- ○参加登録システムにアクセスできない。
  - →年会費が未納の場合、参加登録システムにアクセスできません。なお、年会費の納入が反映されるまでには、支払われた日から1週間ほどかかることがあります。
- ○参加申込みをウェブサイトから行ったが自動返信メールが届かない。
  - →本法人のドメイン @jocdp.jp からのメールが受信できるように設定し、入力したメールア ドレスが正しいことを確認のうえ、もう一度申込みをしてください。それでも自動返信メール が届かない場合は、ウェブサイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
- ○参加費を支払ったが、参加確認書のメールがまだ届かない。
  - →8月中旬までにお送りする予定です。 もし、8月15日までに届いていない場合は、ウェブサイトのお問い合わせフォームよりご 連絡ください。
- ○大会論文集が届かない。
  - →本大会の論文集は発行せず、視聴サイトよりのダウンロードになります。
- ○当日参加はできるのか。
  - →Web大会のため当日参加はありません。参加申し込みを7月末締め切りにしております。期限までに必ず申し込んでください。
- ○一般公開のプログラムだけの参加はできるのか。
  - →会員の方は、大会参加費(5,000円)を払って参加していただくことになります。
- ○領収書がほしい。
  - →クレジット決済の場合は、決済画面より領収書をダウンロードできます。郵便振替の場合は払込控えをもって領収書とさせていただきます。正式な領収書が必要な方は、登録番号、氏名、領収書に記載する宛名を添えて日本臨床発達心理士会事務局(shikaku@jocdp.jp)までご連絡ください。